

戦 評 用 紙

男ホ

男子 3回戦

会場 三郷市総合体育館 コート

| チーム名     | 総得点       |   | 総得点                                       | チーム名         |
|----------|-----------|---|---|--------------|
| 県立氷見高等学校 | <u>37</u> | [ | 17 - 12<br>20 - 19<br>-<br>-<br>-<br>7mTC | ]            |
|          |           |   | <u>31</u>                                 | 神戸国際大学附属高等学校 |

3回戦、序盤から両チームともに速い攻撃を展開し、息をつく暇を与えない好ゲームとなった。神戸国際附高校に連続して退場者が出るが、ゴールキーパー西田優琉の好セーブや巧みな攻撃により、相手に流れを掴ませなかった。相手チームのミスから氷見高校が3点連取をして、リードを4点差に広げる。流れを変えたい神戸国際附高校は、タイムアウトをとり反撃を試みるが、差は縮まらず17対12の氷見高校リードで終了した。

後半は、氷見高校坂下葵芽がシュートを決め、前半に引き続き流れに乗るが、神戸国際附高校もサイドシュートで応戦する。神戸国際附高校が氷見高校の両フローターにマンツーマンディフェンスを行うが、氷見高校は7人攻撃により対応し、リードを9点差までに広げる。神戸国際附高校のタイムアウト後、速攻などにより得点を重ねるが、氷見高校が落ち着いた試合運びを見せた。神戸国際附高校も最後まで果敢に反撃を試みたが、追いつくまでは至らず、37対31で氷見高校が勝利した。

31年3月26日

記載者氏名 後藤 太暉

戦 評 用 紙

男へ

男子 3回戦

会場 三郷市総合体育館 コート

| チーム名     | 総得点 |      |   |    | 総得点 | チーム名      |
|----------|-----|------|---|----|-----|-----------|
| 県立富岡高等学校 | 18  | 11   | — | 14 | 24  | 県立不来方高等学校 |
|          |     | 7    | — | 10 |     |           |
|          |     |      | — |    |     |           |
|          |     |      | — |    |     |           |
|          |     |      | — |    |     |           |
|          |     | 7mTC |   |    |     |           |

3回戦、関東群馬代表の富岡と東北岩手代表の不来方の対戦は、不来方6番海老子川のカットインで先制。富岡は7人攻撃など多彩な攻撃を試みついていく展開に。不来方12番小山田と富岡1番福の両GKの好セーブもあり一進一退の攻防を見せる。富岡の4:2DFに対し、コートを広く使ったOFで不来方が流れを掴み3連続得点。富岡もタイムアウトを挟み2点を返すも不来方が14-11の3点リードで前半終了。

後半開始早々に富岡は退場者を出す。不来方は相手の退場の間に3連続得点で流れを掴みかけるが、富岡7番新井の連続得点で富岡も譲らない。富岡は粘り強く守るも途中から出場の不来方1番大畑の好セーブもあり得点できずに、徐々に不来方のペース。その後、不来方が退場者を出すも富岡は流れを掴めず、24-18で東北岩手代表の不来方がベスト8進出を決めた。

H31年 3月 26日

記載者氏名 青木 庸平

戦 評 用 紙

男ト

男子 3回戦

会場 三郷市総合体育館 コート

| チーム名        | 総得点       |      | 総得点       | チーム名 |            |
|-------------|-----------|------|-----------|------|------------|
| 熊本市立千原台高等学校 | <u>29</u> | 12   | —         | 18   | 県立香川中央高等学校 |
|             |           | 17   | —         | 16   |            |
|             |           |      | —         |      |            |
|             |           |      | —         |      |            |
|             |           |      | —         |      |            |
|             |           | 7mTC |           |      |            |
|             |           |      | <u>34</u> |      |            |

男子3回戦は前日に接戦を勝ち抜いた千原台高校と香川中央高校の対決となった。

スピードあるコンビネーションで先制点を取ったのは千原台高校。勢いに乗りたい千原台

だが、香川中央高校1番大道滉平の好セーブに苦しむ。開始13分、要所で確実に点を

重ねた香川中央高校が4点とリードを広げた。流れを止めたいと千原台高校は即座に

タイムアウトを取るが、なかなか流れがつかめない。そのままリードが6点にひらき

2回目のタイムアウトを千原台高校がとるが、形勢は変わらず12-18で香川中央が

リードのまま前半が終了。後半、千原台高校7番の杉本和人が果敢に攻めるが、点差は

縮まらず、DFでも退場者が出てしまう苦しい立ち上がりになった。しかし、香川中央に

退場者が出たのをチャンスに千原台高校も流れを掴み、徐々に追いついていく。一時は

逆転するかのように思えたが、香川中央のスピードある攻撃を千原台高校は守り切れず

29-34で香川中央高校が千原台高校を振り切り勝利した。

2019年3月 26日

記載者氏名 瀬野 育美

平成30年度 第42回 全国高等学校ハンドボール選抜大会

試合番号

戦 評 用 紙

男子

男子 3回戦

会場 三郷市総合体育館 コート

| チーム名   | 総得点 |      | 総得点 | チーム名     |
|--------|-----|------|-----|----------|
| 瓊浦高等学校 | 21  | 10   | 16  | 浦和学院高等学校 |
|        |     | 11   | 17  |          |
|        |     |      |     |          |
|        |     |      |     |          |
|        |     |      |     |          |
|        |     | 7mTC |     |          |

応援席を埋め尽くす地元の大応援を背にした浦和学院が九州ブロック 2位の瓊浦と対戦する。瓊浦が5番棚町夏貴の力強いカットインから2連取するが、浦和学院も15番松原敦希の倒れ込みシュートから3連取する。両校の鏝迫り合いが続く中、浦和学院が10番大久保光将のパスカットを受けた7番今松祐也の速攻で初めて3点のリードをつくる。負けれない瓊浦も、すぐさま3番前川大樹が取り返す。瓊浦はポストとの連携でゴールを狙うが、それを上回る浦和学院の得点力に点差を離されていく。後半開始、6点差を追いかける瓊浦は14番小澤誠介や6番中井博海を中心に攻めるが、浦和学院GK中原弘貴の好セーブに再三阻まれる。途中、7番村松篇のスカイプレー、2番前田一鷹のミドルシュートで逆転を図るが、浦和学院の猛攻は止まることがない。粘り強いDFからの速攻と、個々の強く速いプレーで危なげなく試合を制した浦和学院が、地元の期待を背負って準々決勝に駒を進めた。

平成31年 3月 26日

記載者氏名 高橋 凜太郎